

感謝状贈呈者

佐久間 由孝（さくま よしたか）様（新庄2丁目）

昭和49年に「椿」が町花木（当時）に制定されると同時に発足した野々市町椿愛好会（当時）の設立に尽力された。また、発足後は、同会役員として、椿の普及に努められた。平成2年には「第1回椿まつり」の開催に多大な努力をされ、現在まで続く「花と緑 ののいち 椿まつり」の礎を築かれた。

野々市市椿愛好会（ののいちしつばきあいこうかい）様

昭和49年に「椿」が町花木（当時）に制定されると同時に発足して以来、椿の普及と市の芸術文化の振興に大きく寄与された。

平成2年に開催した「第1回椿まつり」を主管し、現在まで続く「花と緑 ののいち 椿まつり」の基礎づくりに多大なる貢献をされた。

山口 湛夫（やまぐち ただお）様（白山市荒屋町）

昭和60年に山口湛夫氏が世界で初めて交配による黄色の椿「初黄」を誕生させ、椿の世界に大きな功績を残された。平成26年1月にお亡くなりになった後、ご遺族の下村有子氏の希望により、同氏が育てた「初黄」を含む多くの椿が野々市市へ寄贈された。このことにより、椿まつりの会場に貴重な椿の展示などが可能となった。また、全国椿サミット野々市大会開催にあわせて建設している椿観賞施設「愛と和 花のギャラリー ののいち椿館」の展示に関して大きく貢献された。